

## お題『誕生日』

3月31日は私の誕生日です。  
今年、私が二十歳になるその日、ある素晴らしいスケジュールが入っています。でもその予定はすごくあやふやで、もしかしたら早まるかもしれないし、延期になるかもしれない。はっきりしているのは、その時を多くの人が心待ちにしているということだけ。

私の親友のお腹には、今もうひとり人間が入っています。  
その赤ちゃんが生まれる予定日が、ちょうど私の誕生日と同じ日なのです。

彼女が母親になったと聞いて驚きました。まだお腹も目立っていない頃だったので、言われなければ誰も気づかないのに、そのお腹には確かにもうひとり分の命が入っているのだと思うと、なんとも奇妙に感じました。



高校時代、彼女と「いつか母親になったら」と話していたこともありました。

結婚についてもいろんな話をしました。でも今ではそれも夢の話ではなく、現実になってしまったのです。突然の打ち明け話にびっくりしながらも、おめでとうを何回言っても足りないくらい嬉しい気持ちでした。

彼女とは家も近いので、よく一緒にご飯を食べます。それまでとは打って変わってヒールの靴もはかず、食べ物の好みまでが変わり、会う度に母親の顔になっていくのがわかりました。それでいて大好きなゆずのライヴには、大きなお腹で行ったりしているのです。

父親になった彼もいままで以上にバイトにはげみ、休みの時は一緒に散歩に行くなど、微笑ましい夫婦っぷりです。ただし、子供の名前のことになるとお互いにゆずらないので、未だに決定していないそうです。私もちょっと買い物にいくついでにベビー服売り場に足を運ぶようになり、気が早いとは思いますがすでにいろんな赤ちゃん用品をプレゼントしてしまいました。生まれたらすぐに見に行ってデジカメで撮影しよう、私のことを「おばちゃん」などと呼ばないように教えよう、などと今から盛り上がっています。

広い広い宇宙から見れば、たった一個小さな命が誕生するというだけのこと。それでも私達周りの人間はそろいもそろってソワソワしています。本当に、ただそれだけのことが、こんなにも周りを変えてしまう。小さいのに、偉大。

命ってすごい！ 母親と父親になった、私と同じ歳のふたり。この決断は当然とも言えるけど、勇気があります。まだ学生だし、これから苦労も多いでしょう。私は応援しています。

生まれたばかりの私を抱いて母が退院した日は、桜が満開だったそうです。

その私が、もう二十歳。どういう言葉で言ったら良いかわからないけど、複雑な気持ちです。もし、もうすぐ生まれるその子と同じ誕生日だったら、これから毎年喜びが2倍になります。

誕生日の歌といえば、Drams Come Trueの「HAPPY HAPPY BIRTHDAY」。

この曲の歌詞みたいに、これからまだまだすばらしいことが私に訪れるように祈りながら、今新たな気持ちでその時を待っています。



\* maaya \*